

認知症 治療完全 ガイドブック

The process from evaluation to treatment

～卓上療法集～

症状別の評価から
治療までの行程をこの一冊で網羅

—— 明日から、マネして、すぐに使える認知症治療 ——



日本認知症リハビリテーション協会

目次

P3	部位：海馬	聞いた言葉や図形を見た直後に同じように書き出す
P4～5	部位：前頭前野	計算問題(スピードを意識して)
P6	部位：頭頂連合野	触感や硬さが異なる物品をイメージし、実際に触る
P7	部位：左側頭葉下部	同じ文字のペアを探す
P8	部位：前帯状回	提示された矢印とは異なる向きを書く
P9	部位：味覚野	顔面の皮膚や筋に刺激を入れる
P10	部位：外側前頭皮質	コップの移動と計算問題
P11	部位：頭頂葉後方	使い方に合った物を選択し、使用する
P12	部位：下頭頂小葉	文字の読み書き、指示通りに指を動かす
P13	部位：右頭頂小葉	洋服の模様や数字を当てる
P14	部位：楔前部	指示通りに自身や治療者の身体を触る
P15	部位：左側頭葉	2つの「音」に反応する
P16～17	部位：外側前頭皮質	3つの課題を交互に実施
P18	部位：中脳	眼球の左右運動
P19	部位：運動野-頭頂葉間	相手と同じように体を動かす(一緒に動かす)
P20	部位：中大脳動脈領域	声に出して左右の上下肢の運動
P21	部位：小脳	正しい動作を正確にできるようにする
P22	部位：視床網様体	歯を噛み合わせた口腔や顔の運動
P23	部位：扁桃体(過剰活性抑制)	好きなものを順に並べる
P24	部位：眼窩前頭皮質	邪魔なものが視野に入りながらの計算問題
P25	部位：左側頭葉前方	指定された単語を使用し文書を作り、口頭で言う。
P26	部位：内側前頭皮質	指定された単語を使って文書を作る
P27	部位：島皮質	右上下肢を動かす
P28	部位：後帯状回	自身と物品の位置関係を理解する
P29	部位：右側頭葉	物品認知課題
P30	部位：視床背内側核	状況に合わせた匂いを想起し選択する

アプローチ部位：海馬

内容：聞いた言葉や図形を見た直後に全く同じに書き写す。
各項目を3回連続行う。

治療者が口頭で提示する内容

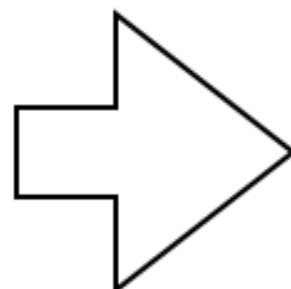
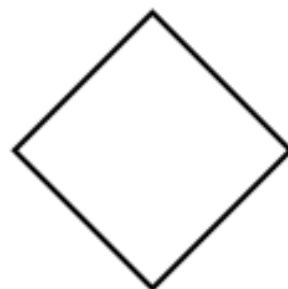
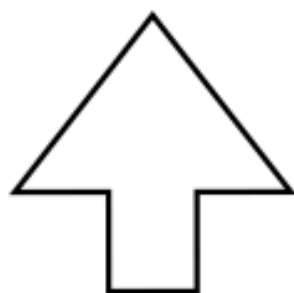
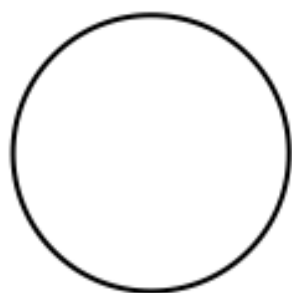
項目1 犬はダンボールの後ろへ隠れました。

項目2 君は外にある車に赤いボールをぶつけた。

項目3 大きな栗の木の下で、2人の少年が喧嘩をしている。

提示する図形

※写すときには見えない様にしてください。



$4 + 2 =$

$2 + 1 =$

$8 - 3 =$

$3 - 2 =$

$3 - 2 =$

$1 + 4 =$

$4 + 1 =$

$8 + 2 =$

$1 + 7 =$

$2 + 5 =$

$4 - 2 =$

$9 - 8 =$

$2 - 1 =$

$9 - 6 =$

$8 - 1 =$

$6 + 1 =$

$4 + 5 =$

$9 + 2 =$

$9 + 3 =$

$3 - 1 =$

$8 - 6 =$

$5 - 2 =$

$2 + 2 =$

$7 + 3 =$

$1 + 1 =$

$7 - 4 =$

$5 - 2 =$

$9 - 6 =$

$10 + 0 =$

$1 + 8 =$

$7 + 2 =$

$9 - 2 =$

$8 - 5 =$

$8 - 2 =$

$4 - 2 =$

$4 + 6 =$

$6 - 4 =$

$7 + 3 =$

$1 + 5 =$

$2 + 8 =$

$2 + 3 =$

$6 - 5 =$

$9 - 4 =$

$8 + 2 =$

$2 + 7 =$

$6 + 3 =$

$9 - 7 =$

$8 + 2 =$

$10 - 3 =$

$5 - 3 =$

$6 - 5 =$

$$\begin{array}{l} 1 + 3 = \\ 2 - 1 = \\ 5 + 3 = \\ 1 + 6 = \\ 9 - 8 = \\ 8 + 2 = \\ 6 - 4 = \\ 5 - 2 = \\ 2 + 8 = \\ 7 - 5 = \\ 9 + 1 = \\ 1 + 9 = \\ 3 - 2 = \\ 7 + 2 = \\ 6 - 5 = \\ 4 + 4 = \\ 9 - 7 = \end{array}$$

$$\begin{array}{l} 5 + 3 = \\ 7 - 6 = \\ 8 + 2 = \\ 3 - 2 = \\ 5 - 3 = \\ 8 + 6 = \\ 4 - 1 = \\ 5 + 4 = \\ 7 - 3 = \\ 4 + 2 = \\ 8 - 5 = \\ 3 + 2 = \\ 2 + 5 = \\ 7 - 6 = \\ 2 + 1 = \\ 9 - 8 = \\ 6 - 5 = \end{array}$$

$$\begin{array}{l} 5 - 4 = \\ 2 + 2 = \\ 1 + 9 = \\ 6 + 6 = \\ 8 - 6 = \\ 2 + 8 = \\ 7 - 5 = \\ 1 + 8 = \\ 9 - 7 = \\ 4 + 1 = \\ 3 + 6 = \\ 7 - 5 = \\ 1 + 9 = \\ 9 - 7 = \\ 2 + 4 = \\ 4 + 5 = \\ 4 - 3 = \end{array}$$

分 秒

アプローチ部位：頭頂連合野

月 日

内容：触感や硬さが異なる物品をイメージし、実際に触る

方法：治療者が被験者に物品の条件を伝える。

その条件にあった物品を複数ある中から選択する。

実際に触って条件に当てはまるか確認する。

条件：

硬く細長い。先端が尖り触ると痛い。もう片方の先端を押すと沈み込む様な感覚が指先に伝わる。

鉛筆 ボールペン 割り箸 ストローマジックペン

条件：

硬くはない。握りこむと指先が沈み込む感覚が伝わるが、手の力を緩めると押し戻される感覚が指に伝わる。

ピンポン球 ボウリング玉 ゴムボール ビー玉

条件：

硬くはない。握りこんでも、手が沈み込まず固い感触が手に伝わる。強く握っても形は変わらない。

テニスボール ピンポン球 シャボン玉 ビー玉

同じ漢字や同じ文字を線で結んでください。

自 火 火 句 句 絹 絹
自 長 火 句 句 絹 絹
火 ま 長 火 句 句 絹 絹
絹 白 白 も 白 白 絹 絹
ら ま す 白 白 絹 絹
句 長 自 白 白 絹 絹
す も ら 絹 絹